

平成23年度 社団法人 大阪府臨床検査技師会 第1回定期総会 (平成22年度決算総会)

次 第

- 日 時 平成 23 年 5 月 26 日 (水) 午後 7 時 00 分～同 8 時 00 分
場 所 社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
- 次 第
1. 開会の辞
 2. 議長選出
 3. 議長挨拶
 4. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 - 2) 書記任命
 5. 会長挨拶
 6. 資格審査報告
 7. 議案審議
 - 1) 第1号議案 平成 22 年度各部事業報告に関する件
 - 2) 第2号議案 平成 22 年度決算に関する件
 - 4) 第3号議案 その他
 8. 議事録署名人選任
 9. 総会役員解任
 10. 議長挨拶
 11. 閉会の辞

議事録 (概要)

1. 開会の辞

定刻どおり運天副会長より平成23年度第1回定期総会開会の辞があった。

2. 議長選出

議長選出について、総会出席者中より立候補者がいないため、執行部から議長候補者として池田勝美氏(城山病院)ならびに山本裕之氏(大阪赤十字病院)の2名を推薦し、出席者の拍手多数をもって承認された。

3. 議長挨拶

池田議長より議長就任の挨拶があった。

4. 総会役員選出

- 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
池田議長より、資格審査委員兼議事運営委員として理事から清水理事ならびに井戸田理事の2名と、出席者より岡本美由紀氏(新生病院)、三上英子氏(高津病院)、伊東千絵氏(小阪産病院)の3名が選任され、両委員会の委員長に清水理事が選任された。
- 2) 書記任命
池田議長より、書記として大臨技事務所職員の岩崎和子氏ならびに出口由紀子氏の2名が選任された。

以上の総会役員任命について、出席会員の拍手多数をもって承認された。

5. 会長挨拶

本日は、平成23年度第1回定期総会であり平成

22年度決算総会ですので、平成22年度の事業と決算についてご審議いただくことになっております。

平成22年度事業において、このあと議案審議のところで詳細な報告がありますが、私から特に強調したいことは、公益法人化対策と会員管理システムの構築であります。

公益法人化については、当初予定は22年度中に達成することになっていましたが、あらゆる問題が生じ、結果的には本年度に持ち越すことになりました。平成23年度中には必ず達成するつもりで進めていきますので、引き続きご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

会員管理システムについては、日臨技会費納入法の変更により22年度の下半期に入っていましたが、急遽大臨技独自の管理システムと賠償責任保険、大臨技会員証の作成などを含め立ち上げました。短期間ではありましたが、担当スタッフの努力により現時点で稼働しております。まだまだ不備もあるかと思いますが、実際に運用しながら問題点があれば速やかに解決していくつもりですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

6. 資格審査報告

清水委員長より資格審査報告があり、本日の会員出席者数28名、委任状によるもの2,069名、計2,097名で、平成23年5月26日現在の正会員総数2,710名の過半数を超えており、本総会は成立するとの報告があった。この報告を受け、池田議長より定款22条に基づき本総会の成立宣言があった。

ここで、議長を山本議長に交代した。

7. 議案審議

- 1) 第1号議案 平成22年度各部事業報告に関する件
各部から議案書に沿って平成22年度の事業報告が行われた。

①総務部

吉本常務理事より、庶務部会および広報部会について報告があった。

1. 庶務部会：大臨技の運営に関わる業務として、1)2回の定期総会および日臨技の総会と合わせて開催案内および委任状を会員に送付。総会時の永年会員表彰関連の準備作業も行った。
- 2) 理事会を始め大臨技の各種会議の開催準備および開催を行った。
- 3) 平成21年度の事業報告書を作成し大阪府へ報告した。
- 4) 公益社団法人の認定取得に向け、定款改訂等の準備を進めた。
- 5) 教育機関と当会との連携強化を目的に、各教育機関担当者と当会担当者による「第7回臨床検査教育機関懇談会」を開催し、各教育機関学生に対しては、大臨技活動の啓発を目的に、大臨技ニュースの配布や「第5回大臨技教育セミナー」を開催した。また、各教育機関より推薦された学生に対し卒業式時に「大臨技会長賞」の授与を行った。
- 6) 本年度からの日臨技会員管理体制の変更に伴い大臨技独自に会員管理を行う必要性が生じたため、大臨技会員管理システムの構築および導入を行い、「大臨技会員証」の発行も開始した。
- 7) 大臨技のみの会員のために「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」を制定した。

2. 広報部会

- 1) 「大臨技会報」は、会員の皆様へ大臨技の経緯および関連資料を提供することを目的に、通巻第196号を発行した。
- 2) 「大臨技ニュース」は、月々の月間予定を含む最新ニュースを届けるため、第255号から第266号まで毎月1日に発行した。
- 3) 2年毎に発行する「大臨技会員名簿」は、「平成22年8月1現在版」を発行した。
- 4) 大臨技ホームページにおいては、昨年度は「求人掲示板」へ176件の掲載依頼があり対応した。このように大臨技ホームページは、関連団体からの情報や理事会議事録の掲載など、会員の皆様に対し有益な情報を、リアルタイムで正確に提供するため、逐次更新した。

②渉外部

清水理事より、渉外部の3事業（献血推進運動、他団体との連携交流、障害者への理解と協力）の報告があった。

平成22年度は、地域医療推進と臨床検査の普及啓発に関する事業として、大阪府民の健康増進と福祉の向上、関係団体と協力し地域医療を推進することを目的に、1. 献血推進活動。2. 他団体との連携交流。3. 障害者への理解と協力を目的に手話講演会および講習会の開催。また、日臨技公益委託事業の2事業および新たな事業として、大阪府細胞検査士会とともに子宮がん検診啓発活動を行った。

1. 献血推進活動については、第33回献血推進活動を平成22年4月10日（土）10:00～16:30、難波グリーンガーデンにおいて開催し、献血受付97名、献血者60名であった。
第34回献血推進活動は、平成22年8月7日（土）10:00～16:30開催し、献血受付91名、献血者72名であった。
第35回献血推進活動は、平成23年2月26日（土）10:00～16:30 難波グリーンガーデンおよび、まいどなんば献血ルームにおいて開催し、難波グリーンガーデンでは、献血受付70名、献血者46名であり、まいどなんば献血ルームでは、献血受付130名、献血者111名であった。

2. 他団体との連携交流については、大阪府「看護の日」記念行事として、平成22年5月15日（土）9:30～16:00 看護協会桃谷センターにて、世話人20名が担当し、血糖測定316件、頸部エコー317件、尿定性検査81件の測定を行った。第5回府民健康フォーラムは、平成22年10月30日（土）14:00～17:00大阪YMCA国際文化センターにて、「おそれず、あなどらず糖尿病」をテーマとして開催し、297名の参加があった。第11回大臨技・大放技合同フォーラムは、平成23年1月15日（土）14:00～17:00大阪府医師協同組合にて、「痛みはどう立ち向かうか？—救急現場におけるチーム医療の担い手たち—」をテーマとして開催し、104名の参加があった。子宮がん検診啓発活動は、平成22年4月10日（土）10:00～16:30難波グリーンガーデンにて、細胞検査士会21名および当会5名の世話人によりチラシの配布や呼び掛けを行った。

3. 障害者への理解と協力については、手話講習会を技師会事務所にて、第1回目を、平成22年11月5日（金）18:30～20:00に開催し、23名の参加があった。第2回目を、平成22年11月9日（金）18:30～20:00に開催し、16名の参加があった。第3回目を、平成22年12月3日（金）18:30～20:00に開催し、9名の参加があった。

手話講演会は、平成22年12月18日（土）14:00～16:00 大阪府社会福祉会館にて、医療の現場に活かすコミュニケーションをテーマに開催し、多田京子先生を講師として招き、37名の参加があった。

4. 日臨技公益委託事業の2事業は、①ガン制圧、乳がん撲滅に関する事業として、第1回乳癌検診フォーラムを、平成22年10月16日（土）14:00～17:00大阪府医師共同組合会館にて、乳腺外科専門医側から「最近の乳がん治療について」臨床検査技師側から「超音波検査でわかること・わからないこと」、「乳腺の細胞診って、どんな検査なの?」をテーマとして開催し102名（会員72名、府民30名）の参加があった。②エイズ、STI予防に関する事業として、HIV予防啓発活動を、平成22年12月18日（土）13:00～15:00谷町6丁目駅周辺にて、世話人15名が参加し、開催した。

③情報組織部

井戸田理事より、平成22年度事業の報告があった。

情報組織部では技師間における組織の強化、新人の教育研修および技師会への入会斡旋、チーム医療への参画とスキルアップを目的に事業を開催した。

1. 新入会員研修会を平成22年7月3日に開催。30名の参加があり、新人の研修と交流を行った。
2. 組織調査事業として、検査室および検査技師の実態調査を実施した。調査期間は平成22年11月19日～12月10日で、設問内容は組織規模、待遇（給与など）、業務（収支含む）、チーム医療、教育などで、大臨技登録420施設を対象に88施設より回答が得られた。2ヶ月間で解析を行い、解析結果を第27回技師長会で報告した。
3. 第27回技師長会を平成23年2月19日に、「臨床検査技師の質向上を目指して」をテーマに開催した。検査部門実態調査報告と、目標管理の必要性について講義を行い、36名の参加があった。
4. チーム医療部門については、糖尿病療養指導部会では、糖尿病治療と糖尿病療養指導についての特別講演会を、平成22年7月19日と平成23年2月27日に開催し、各々の参加者数は73名、83名であった。定例勉強会を4回開催し、各々38名、50名、40名、26名の参加があった。ICT部会では、平成22年6月25日と平成22年12月17日に結核菌ならびに疫学統計の内容で定期講習会を開催し、各々71名、50名の参

加があった。NST・褥瘡部会では平成22年6月26日と平成22年10月2日にNST活動およびNST教育について講演会を開催し、各々22名、18名の参加があった。生殖医療部会では、平成23年3月4日に奈良県技師会と合同で女性生理周期のホルモン変動について講演会を開催し、61名の参加があった。

④地区事業部

田畑理事より、平成22年度の3事業の報告があった。

地区事業部では、平成22年度は、1. 地域の会員相互の交流強化。2. 各支部における自由集会の開催。3. 府民参加型健康啓発事業に関する協力の3事業計画に従い事業活動を行った。

1. 会員相互の交流強化の事業として、1) 会員交流会を10月2日、堺とれとれ市にて開催した。大型漁船乗船体験、バーベキュー、マグロの解体ショー、ゲーム大会等を行い、親睦を深めることが出来た。2) 施設連絡者会を1月22日、病院年金会館にて開催した。「技師会報告」では、大臨技での緊急検査部会の立ち上げや、当会の現状と今後の活動について報告し、「特別講演」ではインフルエンザワクチンを中心とした本邦での予防接種の現状について講演した。

2. 自由集会の開催事業として、1) 北・中央・南の3支部において、職能を主題として、それぞれ2回の自由集会を行った。①北支部では、大阪医科大学にて、7月10日、「パニック値対策講座～もう、「パニック値」など遣いとうなかった!」とは言わせない～」をテーマに、検査編として「血液」「生化学」「血液ガス」、医師編として「意識障害とパニック値～臨床医の思いは如何に?～」の内容で開催。10月23日には、「急性腹症と臨床検査 一病態と臨床検査の関係を探る」をテーマに、検査編として「生理検査」「検体検査」、臨床編について自由集会を開催した。②中央支部では、大阪府立成人病センターにて、5月29日に、「緊急検査時に自信をもって報告が出来ますか? 「緊急検査の輸血検査」「緊急検査のいろは: 意識障害は低血糖から!!」」をテーマに、11月27日に、「緊急検査時の感染症検査: 少しでも悩み解消できれば」「緊急時の血液感染症検査HBV・HCV・HIV編」「緊急時の感染症迅速診断キットの使用にあたって」「緊急時の感染症検査の使用経験及び多剤耐性菌・グラム染色の対策」をテーマに自由集会を開催した。③南支部では、岸和田市民病院にて、6月12日に、「医療安全を考える。一あるよな～そんな事・・・で済ませていませんか? 財産の共有をしてみましよう。一「緊急検査部門よりの報告」「生理検査よりの報告」「輸血検査よりの報告」「全体を通じての報告」」をテーマに自由集会を開催した。11月13日、テクスピア大阪にて、「緊急検査項目のお・さ・ら・い～美味しいところ、てんこもり!～「プロローグ」「血液ガス」「血算・輸血」「血糖・乳酸」「心電図」「グラム染色」「電解質」」をテーマに自由集会を開催した。3支部とも緊急時対策等を主体とし、充実した内容の自由集会を開催した。

3. 府民参加型健康啓発事業に関する協力として、豊中、吹田、摂津の各市にて行われている健康展に協力した。各健康展とも、多数の市民の方が参加があり、大盛況で充実していた。昨年よりの協力事業として、大阪南港A T Cホールにおいて、7月3日(土)、4日(日) マタニティーカーニバル2010体験コーナーを運営し、2日間で2万人を超える来場者があり、充実した。今後も、公益活動として、また、臨床検査ならびに検査技師をアピールするために、参加・協力したい。

⑤学術部

高田常務理事より、平成22年度の学術部事業報

告があった。

学術部では、学術部事業を開催するための準備会議や企画会議を大臨技事務所 で月1回、計12回行った。学術部が担当する第6回大臨技教育セミナーの準備会議である各技師養成学校ならびに大学の担当者との懇話会を本年3月に大臨技事務所において共催し、事業部各部長も出席して意見の交換を行った。学術部担当事業として、7月17日に関西医大附属滝井病院で開催された第5回大臨技教育セミナーを担当した。5回目で初めて教育講演に臨床講義をお願いした。テーマは最も身近にあり学生の方にも馴染めるように循環器病とし、講演においては学生の方にもわかるように心電図を中心とした内容で、ワークショップでは例年通り大阪府下の検査技師学校の先輩諸氏の体験談や今後の希望等をテーマとした。参加者132名の大部分を占める学生の方にとっては実社会に進む時の一助となる講演だったと思う。これに参加した学生の感想は大臨技ニュースにも掲載されている。学術部講演会を2回開催した。第3回は「緊急検査の進め方～症例から学ぶABC～」をテーマに9月18日に関西医大附属滝井病院で、第4回は「肝臓病を紐解く」をテーマに3月12日にあべのメディックス6階ホールで開催した。第3回講演会は本年度より大臨技事業として開始している緊急検査部会の予行的な事業を企画し142名という参加者があった。第4回でも102名の参加があり分野を越えた白熱した討論が行われた。平成22年度の講演会では今までの反省点を踏まえ、事前に綿密な打ち合わせを行い満足のいくものだったと考えている。

平成22年度の救急処置に対する取り組みでは大阪府下で唯一ICLSコースの講演会は諸般の事情により事業を開催することができなかった。日臨技、近臨技関係に関しては、大臨技ニュース第268号に掲載どおり、神戸市で開催した第59回日本医学検査学会は一般演題・シボゾウム等の座長・司会を表のように9名推薦をした。地元開催なのでシボゾウム等に17題、一般演題では58題の発表があった。

奈良市での第50回近畿医学検査学会では21名の座長推薦を行い、38題の一般演題とシボゾウム等に10題の発表があった。座長・司会に関しては前年同様の数で、一般演題は一昨年、大幅に減少したが昨年度は大幅な増加となった。各部門の学術研究活動は講演会、研修会、実技講習会等の事業を実施した。22年度は昨年よりすこし少ない103回の事業開催だが参加者は約6,000名であった。開催数に関係なく参加者数に関して恒に例年通りの参加者数があり会員のスキルアップと新しい知識の習得に学術部の各事業が少しでも寄与していると確信した。今後も会員のニーズの掘り起こしとそれにどのように対応するかを積極的に考えたい。

昨年度も各事業部の事業、具体的には「看護の日」「新入会員交流会」「府民フォーラム」「大臨技・大放技合同フォーラム」に講師の推薦・派遣を行った。

以上のように学術部としては平成22年度も予算総会で承認された計画案で事業を展開し、ほぼ満足すべき結果を残せた。

以上の第1号議案「平成22年度各部事業報告に関する件」は質問、意見共なく出席会員の拍手多数をもって承認された。

2) 第2号議案 平成22年度決算に関する件

「平成22年度決算に関する件」について別紙「収支計算書」に沿って荒木理事より説明された。

収入に於ける報告

会費収入: 新入会費は減少したが継続会費収入増により686,000円の増収、事業収入: 学術講演会の減収により2,259,395円の減収、補助金収入: 日臨技公益事業補助金等の1,190,489円の増収、

雑収入：703,730円の増収、当期予算額に対し391,574円増の33,691,574円であり、前期繰越収支差額と合わせ43,189,256円の収入を計上した。

支出に關しての報告

人件費：社会保険料率が上昇したため5,910円の増、会議費：114,591円の減、事務経費：パソコンが壊れ新たに購入73,925円の増、事務所費：185,075円の減、学術研究費：2,822,294円の減、広報印刷費：773,193円の減、渉外費：58,929円の増、情報組織費：115,545円の減、各種研修会費：48,000円の減、各種委員会費：253,436円の減、地区事業費：290,156円の増、諸経費：132,798の増、各部会等の節約により当期予算額に対し5,105,902円減の35,194,098円を計上した。当期収支差額は△1,502,524円と合わせ、7,995,158円を次期繰越収支差額とした。

続いて栗本監事より、定款36条の規定により平成22年度の監査を、栗本監事ならびに山中監事を実施した結果について監査報告があった。

【監査報告書】

1.会務について

平成22年度定期総会において、決議された事業計画については、円滑に遂行されていると認めます。

事務局、事業部の各部は、会員への情報提供の充実やニーズに適合した専門教育の実施および公益法人移行のための事業見直しや会員管理・会費納入管理の変更対応など迅速かつ適正に会務を遂行されており高く評価いたします。

2.会計について

収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書をはじめ各帳簿並びに各証拠書類の整理及び備品管理は指摘事項なく適正に行われていると認めます。

3.意見及び要望事項

平成23年度は公益社団法人移行の年となりますので円滑かつ適正に法人移行業務を遂行されるように希望いたします。また公益法人の基準に適合した事業内容と予算管理および財務管理が求められますので、大臨技役員・部員がより一層協力して会員および府民のために公益法人にふさわしい会務と遂行されることを期待します。

以上の第2号議案「平成22年度決算に関する件」および「会計監査報告」は質問、意見共なく出席会員の拍手多数をもって承認された。

3) 第3号議案 その他に関する件

以上の第3号議案「その他に関する件」は意見なく上程なしと判断した。

8.議事録署名人名人選任

山本議長より、議事録署名人名人として本日出席者の中から、上遠野明氏（南大阪病院）、岡部文雄氏（結核予防会大阪府支部相談診療所）の2名が選任された。

以上の議事録署名人名人の選任について、出席会員の拍手多数をもって承認された。

9.総会役員解任

山本議長より、本総会の役員および書記が解任された。

10.議長挨拶

山本議長より、議長退任の挨拶があった。

11.閉会の辞

竹浦副会長より、平成23年度第1回定期総会閉会の辞があり、午後8時00分閉会となった。

平成23年5月26日

議事録署名人名人

印

同

印